

平成27年度 第1回 千葉県救急・災害医療審議会 議事概要

日時：平成28年3月15日（水） 17時から19時

場所：千葉市ビジネス支援センター（きぼ一る）13階 会議室3

出席委員：平澤委員、川越委員、李委員、木下委員、中西委員、小林委員、松本委員、伊達委員（13名中8名出席）

※議事（1）については医療機関の経営に大きく影響する内容であり、関係資料に個人情報が含まれること、各委員から自由な意見を求める議事であることから、議事の内容を非公開とする。

議事（1）災害拠点病院の指定について

【事務局説明】資料1により説明

【結論】東邦大学医療センター佐倉病院を災害拠点病院に指定することについて、承認された。

議事（2）千葉県の救急搬送に係る取り組みの方針について

ア 救急搬送実態調査の中間報告について

【事務局説明】資料2-（1）により説明

イ 救急電話相談事業について

【事務局説明】資料2-（2）により説明

【結論】救急電話相談事業の導入については費用対効果等についてよく検討していく。

【意見等】

- ・救急電話相談により救急車の出動回数が減るかはわからない。
- ・他都県では救急電話相談にはかなりの医療スタッフを割いている。
- ・救急電話相談は数年では大きな効果が得られない。今後の救急搬送件数も踏まえて、大きな視点で考える必要がある。

ウ 搬送困難事例受入医療機関支援事業について

【事務局説明】資料2-（3）により説明

【結論】搬送困難事例受入医療機関支援事業については実績に応じて補助額を配分する等、有効に活用する。

エ ちば救急医療ネットの更新方針について

【事務局説明】資料2-(4)により説明

【結論】ちば救急医療ネットの更新については医療機関側の入力負担、各地域の体制の違い等を考慮して検討していく。

【意見等】

- ・ 現行システムの効果について検証が必要である。
- ・ リアルタイムだと医療機関で1人状況を常に把握するスタッフが必要となり、その1人に負担が集中する
- ・ 地域により搬送ルールがあるので、医療圏ごとにカスタマイズする等考える必要がある。

議事(3) 千葉県保健医療計画における救急・災害医療に係る評価指標について

【事務局説明】資料3により説明

【意見等】

- ・ ドクターヘリ出動回数目標は、そろそろ量ではなく質を考えていく時期。
- ・ 心肺停止状態の患者の予後について、生命予後と神経予後の2つで検討すべき。